

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.5	
Q1 室内環境					0.40		-	3.3	
1 音環境				3.2	0.15		-	3.2	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		-		
2 界壁遮音性能				-	-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		-		
1.3 吸音		多目的ホールの壁、天井材に吸音材を使用		4.0	0.20		-		
2 温熱環境				3.0	0.35		-	3.0	
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.7	0.25		-	3.7	
3.1 昼光利用				3.6	0.60		-		
1 昼光率		昼光率2.22%	4.0	0.60		-	-		
2 方位別開口			-	-		-	-		
3 昼光利用設備			3.0	0.40		-	-		
3.2 グレア対策			-	-		-	-		
1 昼光制御			-	-		-	-		
3.3 照度		照度887lx	4.0	0.40		-	-		
3.4 照明制御			-	-		-	-		
4 空気質環境				3.6	0.25		-	3.6	
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		全面的に規制対象外もしくはF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00		-	-		
4.2 換気				2.6	0.30		-		
1 換気量			3.0	0.33		-	-		
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上	4.0	0.33		-	-		
3 取り入れ外気への配慮			1.0	0.33		-	-		
4.3 運用管理				4.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視			3.0	0.50		-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている	5.0	0.50		-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-	3.7	
1 機能性				4.0	0.40		-	4.0	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性			-	-		-	-		
2 高度情報通信設備対応			-	-		-	-		
3 バリアフリー計画			3.0	1.00		-	-		
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30		-		
1 広さ感・景観			-	-		-	-		
2 リフレッシュスペース			-	-		-	-		
3 内装計画		建物全体のコンセプトや機能が明確であり、事前に検証を行っている	5.0	1.00		-	-		
1.3 維持管理				4.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		内装仕上げ材は防汚性の高い仕上建材を使用	4.0	0.50		-	-		
2 維持管理用機能の確保		適宜に清掃用具、清掃流しを設置	5.0	0.50		-	-		
2 耐用性・信頼性				3.7	0.30		-	3.7	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		構造体Ⅱ類(I=1.25)を採用	4.0	0.80		-	-		
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20		-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20		-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		更新必要間隔が20年以上の仕上げ材を使用	5.0	0.10		-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10		-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		主要な用途3種(給水、雑排水、通気)のうち、2種類以上にB以上を使用(塩ビライニング鋼管・硬質塩化ビニル管)し、Eは不使用	5.0	0.20		-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20		-	-		
2.4 信頼性				4.0	0.20		-		
1 空調・換気設備			3.0	0.20		-	-		
2 給排水・衛生設備		災害時に雨水を便所洗浄水に使用	5.0	0.20		-	-		
3 電気設備			3.0	0.20		-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスSを採用	5.0	0.20		-	-		
5 通信・情報設備		タルケーブル(電話)、光ケーブル(LAN)の設置見込	4.0	0.20		-	-		

3 対応性・更新性				3.3	0.30	-	-	3.3
3.1 空間のゆとり				4.0	0.30	-	-	壁長さ比率0.23
1	階高のゆとり		-	-	-	-		
2	空間の形状・自由さ		4.0	1.00	-	-		
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			周辺環境を読み取り馴染む形状・色彩計画とし、圧迫感を与えない景観を形成。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			設計プロセスに地区住民(施設利用者)が参加している	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			[BPI][BRI _m]:0.87	4.3	0.20	-	-	4.3
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m]: 0.81	2.9	0.50	-	-	2.9
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水			節水コマ、泡沫水栓、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.7	0.60	-	-	
1			雨水利用システム導入の有無	4.0	0.70	-	-	
2			雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.60	-	-	3.5
2.1 材料使用量の削減			RWB(ロックウール化粧吸音板)、コルクタイル	2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.20	-	-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含有しない建材を使用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.5	0.70	-	-	
1			消火剤	-	-	-	-	
2			発泡剤(断熱材等)	4.0	0.50	-	-	
3			冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率86%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				4.0	0.25	-	-	
1			雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	
2			汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
3			交通負荷抑制	5.0	0.25	-	-	
4			廃棄物処理負荷抑制	5.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	公共施設の照明率の高い器具を採用、広告物照明を行っていない
1			騒音	3.0	1.00	-	-	
2			振動	-	-	-	-	
3			悪臭	-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1			風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
2			砂塵の抑制	-	-	-	-	
3			日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1			屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	5.0	0.70	-	-	
2			昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	